

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 2年 3月10日

事業所名 こども発達支援センター りりい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	・宿題や個別課題に取り組める個室を4部屋設置しています。	
	2	職員の配置数は適切である	80%	20%		・人員配置上の問題はありますが、児童の状況や利用人数によっては厳しい場合もありますので、体制等について検討していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	90%	10%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	50%	50%		・PDCAサイクルを理解し運用するための学習会を進めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0	100%		・今回が初めての評価になるため、適切に分析して今後に繋げます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	100%		・準備しているところです。保護者の方にご理解ご協力を頂くためにも早期に対応します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	70%	30%		・第三者委員が定期的に訪問していますが、評価・改善という部分が必要だと感じています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	60%	40%		・利用児童の状況もあり機会の確保が難しいが、職員のスキルアップのため積極的に取り組んでいきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%		・各関係機関と連携をして、適切なものを活用したいと思います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	60%	40%		・担当者を決めて進めていますが、必要に応じてチームでの取り組みを進めます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	50%	50%		・現状を分析し見直していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	20%		・細やかではないが、土・長期休業等について設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%		・現在も行っていますが、より密に行う必要を感じています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	40%	60%		・現在も行っていますが、より密に行う必要を感じています。 ・前日の様子を翌日朝のミーティングで確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	70%	30%			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	60%	40%			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	70%	30%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	90%	10%	・学校から予定表を頂いたり担当者で連絡を取り合い対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	40%	60%		・児童発達支援事業に対象児はいますが、放課後等デイには対象児はいません。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	100%		・初年度のため、対象となる児童はいません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	100%		・初年度のため、対象となる児童はいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	70%	30%		・助言を受けたケースはあるが、より多くの児童について連携が必要と感じます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	100%		・年度途中の開所のため取り組みがスムーズではありませんでした。今後は様々な計画を立て運営していくように努力します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	60%	40%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	90%	10%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	20%	80%		・ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者との情報交換や療育的アドバイスは行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	20%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	100%		・保護者の方のニーズを把握して取組みたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	20%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	100%		・準備しているところです。保護者の方にご理解ご協力を頂くためにも早期に対応します。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	90%	10%		・言葉に他に視覚支援やマカトンサイン、文書にルビを付けたっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20%	80%		・年度途中の開所のため取り組みがスムーズではありませんでした。今後は様々な計画を立て運営していくように努力します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	70%	30%		・各マニュアルは作成していますが、活用する機会がない状態のため取り組みを進めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	50%	50%		・虐待防止のための学習会を改めて設定していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	50%	50%		・対応した事案はありませんが、正しい理解と運用のための学習会を設定していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	70%	30%		